



pinna.jp - 8790993

ほけんだより

令和3年6月15日(火)

西こども園 看護師 篠原純子



内科健診、歯科健診が終了しました。お休みの中、健診のために園へ来ていただいた方もいて、皆様のご協力に感謝しています。受診が必要なお子さんには、受診表を渡していますので、早めの受診をお願いします。もう、受診表を園のほうへ提出していただいたご家庭もあります。重ねて、ありがとうございました。

さて、歯科健診の結果ですが、昨年度に比べ残念ながら虫歯のお子さんが増えています。下の表は、クラスごとの結果になります。



	虫歯		虫歯予備軍		歯並びが悪い		反対咬合		その他	
	1号	2号	1号	2号	1号	2号	1号	2号	1号	2号
ひよこ	0		0		0		0		1	
バンビ	0		0		0		0		1	
きりん	0		0		0		0		0	
	1号	2号	1号	2号	1号	2号	1号	2号	1号	2号
りす	2	0	0	0	1	2	1	4	3	0
うさぎ	4	0	0	0	1	0	5	0	1	1
くま	1	2	0	2	1	1	0	2	2	2



歯科医の早坂先生からは「反対咬合(受け口)の子が増えているね。」
「小さい頃からしっかりかんで食べることを意識していかないと顎が育たなくて反対咬合が起こるんだよ」 その一方で、
「うちの人が一生懸命に歯ブラシしてくれているんだね。きれいな歯が多かったよ」と話してくれました。

反対咬合…「うけくち」「しゃくれ」とも言われています。

原因は「遺伝」「癖」「生え変わりが上手くいかなかった」など様々ですが、放置しておくとう手術が必要になるケースもあるので、早めに歯科医に相談しましょう。

<反対咬合によるデメリット>

1. サ行やタ行等の発音が不明瞭になることが多い
2. 虫歯や歯周病になりやすい
3. 咬む能力が低下することがある
4. 顎に負担がかかり過ぎ、顎関節症の原因になることがある
5. 体のバランスを崩し、自律神経失調症や不定愁訴の原因になることがある
6. 顔がしゃくれているため心理的な問題やコンプレックスにつながるが多い

寝方や肘をつくなどの姿勢も関係することがあるようです。姿勢よくが基本ですね。

☆ マスクやフェイスシールドの効果



マスクは手軽に行える感染症予防のひとつです。素材別の効果と正しい取り扱いを知って、感染予防対策をしていきましょう！ 下記の図は、豊橋技術科学大学が行ったマスクの特性による飛沫の吐き出しと吸い込みのシュミレーション結果です。

対策方法	なし	マスク			フェイスシールド	マウスシールド
		不織布 	布マスク 	ウレタン 		
	吐き出し飛沫量					
	100%	20%	18-34%	50% ^{※2}	80%	90% ^{※2}
	吸い込み飛沫量					
	100%	30%	55-65% ^{※2}	60-70% ^{※2}	小さな飛沫に対しては効果なし (エアロゾルは防げない)	

(スーパーコンピューター「富岳」によるシュミレーションの研究 豊橋技術科学大学)

飛沫(唾)を飛ばさない効果だけを考えると、不織布マスクも布マスクも同じくらいの結果であるものの、吸い込みに関しては不織布マスクのほうが有効ことがわかります。では、正しいマスクの着用と正しいマスクの外し方は出来ているでしょうか？

間違ったマスクの付け方

- 口だけ覆い、鼻が出ている
- ゴムひもが緩い
- 使用中のマスクを顎にかける
- 顔にフィットしていない

*マスクだけでは完全に防げないため、手洗い・うがい・アルコール消毒も併せて行いましょう！



正しい マスクの外し方



昼食時 口に触れる面を内側に折っておく！
そのまま机の上に置かず、ビニール袋などに入れておく！

*毎回マスクを替えることよりGOOD！

マスクの表面は、目には見えない「ばい菌」がたくさんついています。もし、表面を触ってしまった際は、粘膜(目や鼻、口など)に触らないように意識をして、手洗いを行うかアルコール消毒をします。

3～5歳のお子さんにマスクを配布することになりました。本日5枚持ち帰りますのでご確認ください。